

この部屋から、旅に出よう。

24' 特別号

Platform

特集

Questでも 行けるワールド

Putt Putt Quest

TomboBattlefield

Astral Bounds / 雨端

Kitchen Cooks! / THE SMILE ROOM

Bar Only You / Super Tower Defence

青天霹靂 / Terra Cotta Valley

Star-Gatherers / Onnon_Nostalgia1999

夏空の休息地 / 夏宙の休息地 / キロバイトのうみ

Platform

24' 特別号 contents

Putt Putt Quest	... 4
Tombo Battlefield	... 5
Astral Bounds	... 6
雨端	... 7
Kitchen Cooks!	... 8
THE SMILE ROOM	... 9
Bar Only You	... 10
Super Tower Defence	... 11

青天霹靂	... 12
Terra Cotta Valley	... 13
Star-Gatherers 星を釣る人	... 14
Onnon_Nostalgia 1999	... 15
夏空の休息地	... 16
夏宙の休息地	... 18
キロバイトのラミ	... 20
あとがき	... 22

24' 特別号のテーマは「Quest」。

今回はMetaQuest3とMetaQuest3sの発売により、大きく間口が広がったことをふまえて、それらのデバイスさえあれば入る事の出来る場所を特集することにした。

ともすれば、こうしたワールドは高級なVR機材を用いて入ることができる場所に比べて劣ったものとされた時期もあったが、クオリティも日々向上しており、今回の様に特集号を組んでもそん色ないものとなっている。

入りやすくなったVR世界へようこそ。あなたの旅が、ここから始まるのです！

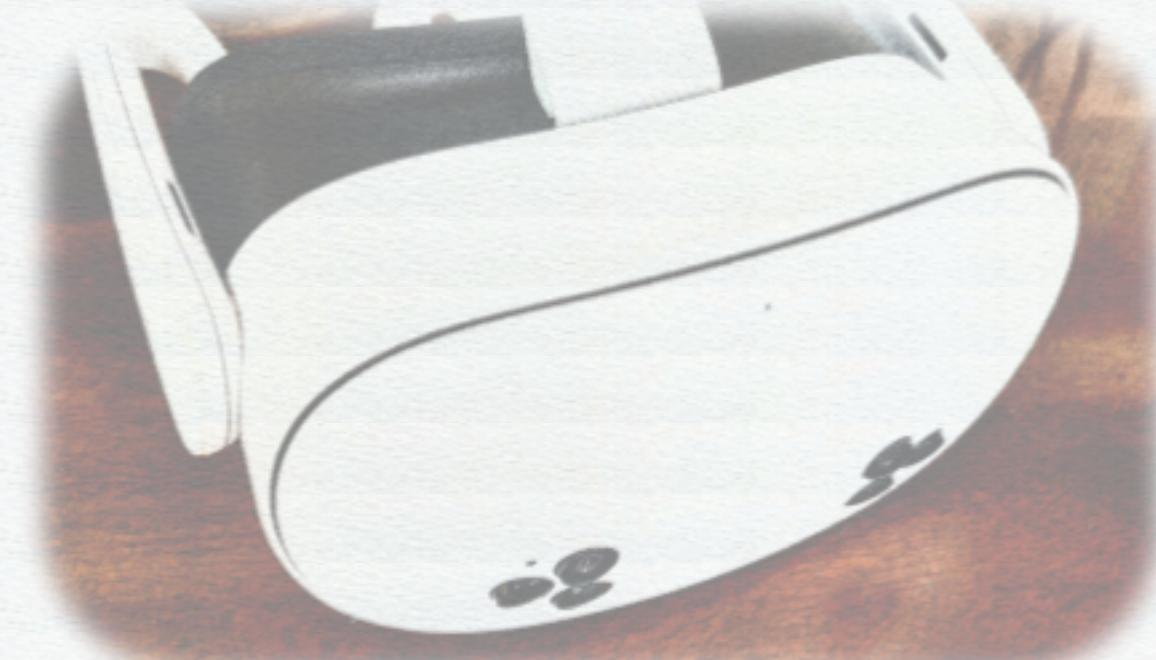
編集長

世界には、色々な町がある。
その町ひとつひとつに、駅がある。

どの町も駅もそれぞれ違っていて、
違った人たちがいて、
そこを訪れた僕たちが抱く思いも、
きっと違うのだろう。
……たとえVRChatの世界のPCでも、Questでも。

今はまだ離れ離れの「駅」を、「町」を、
あなたへ繋ぐ線路でありたい。

——それが「Platform」





TomboBattlefield

Created by LefTonbo

[ACCESS](#)



弾の準備は十分かっ?ここは2つのチームに分かれて遊ぶことが出来るバトルフィールド!フレンドを集めていざゲームスタート!銃や剣をうまく使って相手チームをねじ伏せろ!!ゲームモードはフラッグ戦やデスマッチいろいろあるよ!それにチーム戦だけじゃなくて個人戦だってあるよ!バトルロワイアルだってVRChatの世界でできちゃうつてまじー?!お前にこれだけフレンド呼べるのかだつてー?よからう.....その挑戦受け取つたーー!レツツバトルスタイト!!!!



Putt Putt Quest

Created by Ostinyo

[ACCESS](#)



写真/Tokikaze



和室に伸びた真夏の日影
は、埃の匂いと結び付
いている。あるいは線
香の香りとも。子ども時代は夏
休み、大人になってからは盆休
み。猛暑や日々の喧噪から身を
守り、目を閉じて打ち寄せる波
の音に耳を澄ませる。まるで子
守歌。足首を包む冷たい海水を
思い出す。雨端に座り込むなら
ば、塀の高さで外界の人工物が
見えなくなる。穏やかな青空に
吸い込まれそう。遠のく意識に
心の底から安らぎを感じたのは、
いつ以来だろうか。

(文・sun)

写真／一兎

雨端 Amahaji

Created by お休みさん

昼版 [ACCESS](#)

夕版 [ACCESS](#)

夜版 [ACCESS](#)



写真／rocksuch

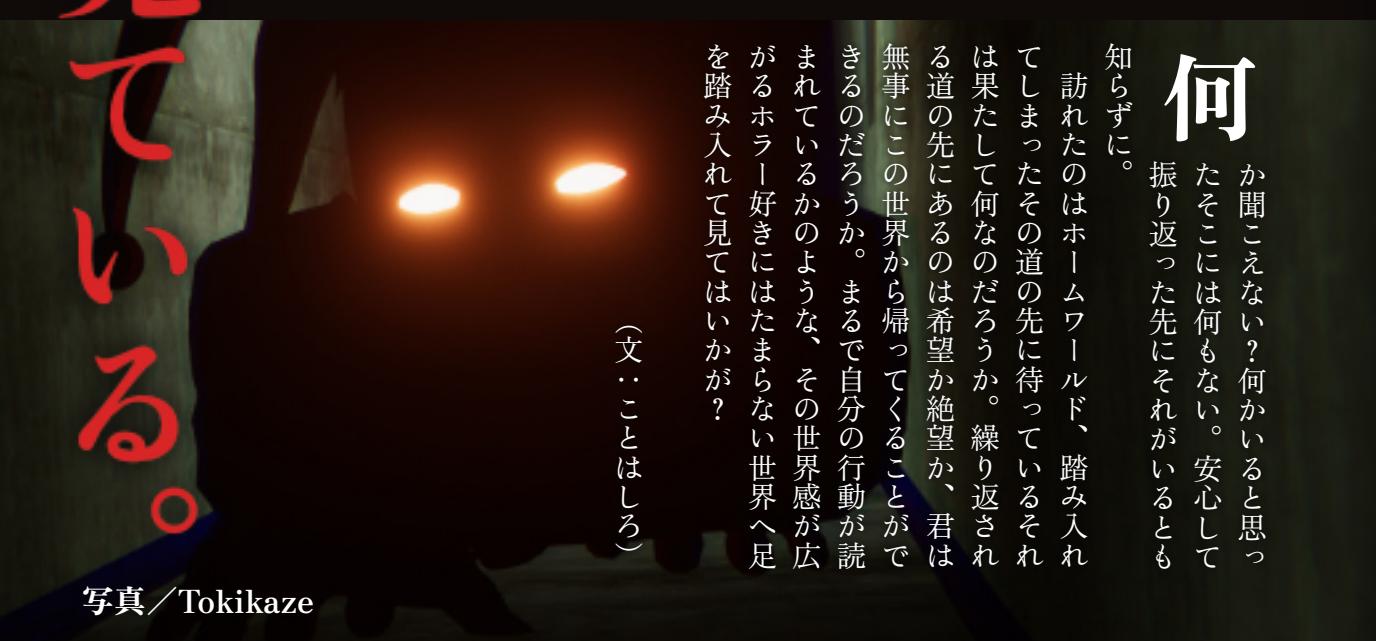
Astral Bounds

Created by Vectriel

[ACCESS](#)


(文・ニッソ編集長)

この夜には月だけではな
く、心を写した球が浮く。
このAstral Boundsは一
見夜の離島のリゾートホテルのよ
うな雰囲気のあるワールドだ。石
造りの固そうな壁は現実感を帶び
て存在し、叩けばコツコツと音が
鳴りそうだ。だが、その中心には
非現実的な球体が浮いている。こ
れはなんだろうか。パーティクル
を放つその球体は、どこか自分の
心を写すかのように、不安定に、
だがしっかりと輝いて浮いている。



THE SMILE ROOM

Created by ItsCrispy



[ACCESS](#)



Kitchen Cooks!

Created by Jar

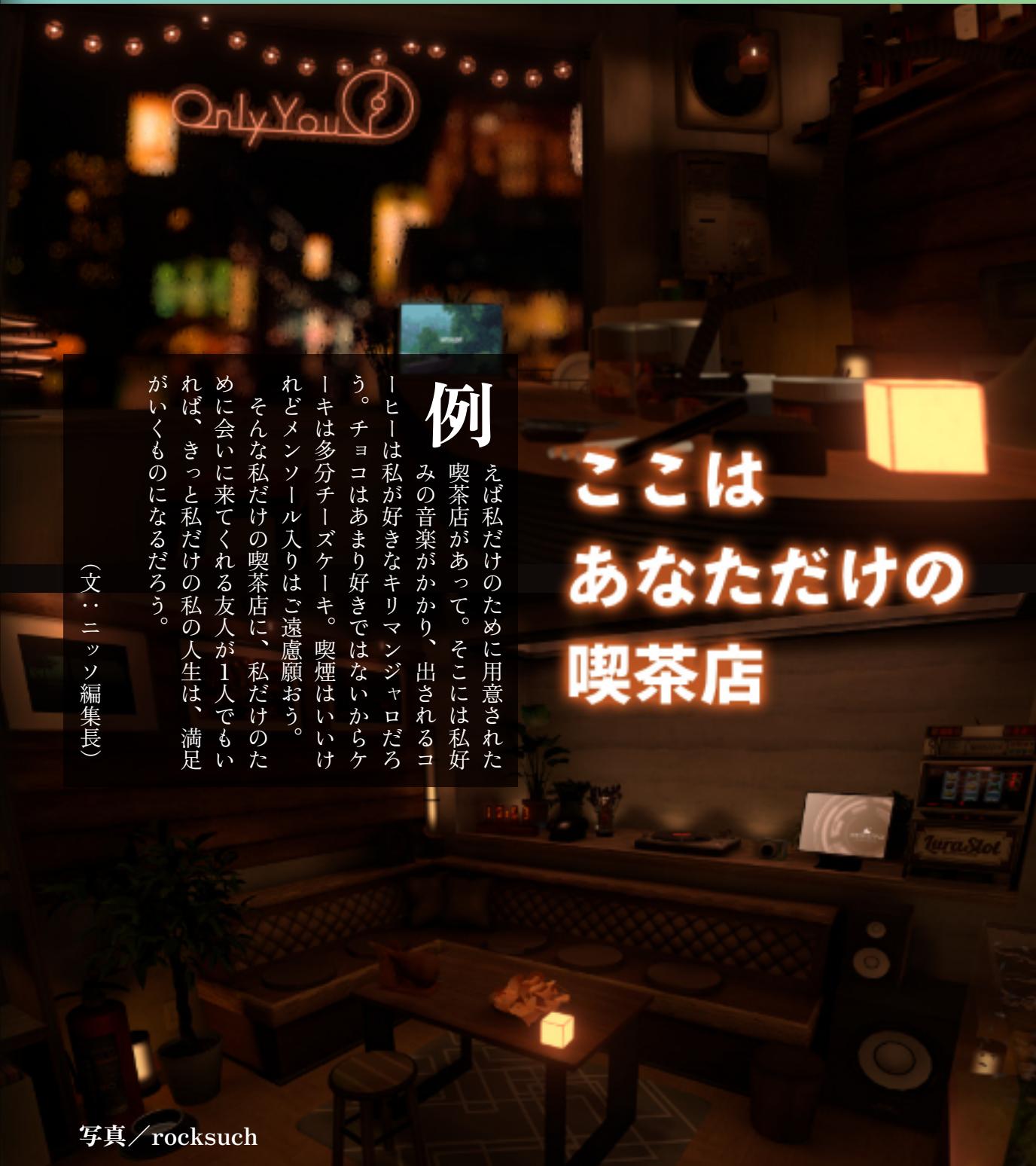
[ACCESS](#)



ジューと鳴り響く焼ける肉の音♪♪ 気を抜くと思わず口からよだれが出てくる。今日はハンバーガー屋さんでせっせとクッキング！パンにお肉に次はチーズ。あれらないと時間が無くなっちゃうよと声がする。向かい側からはポテトの揚がる音が聞こえてくる。ところでーーー揚げ物見てる人居なくない？

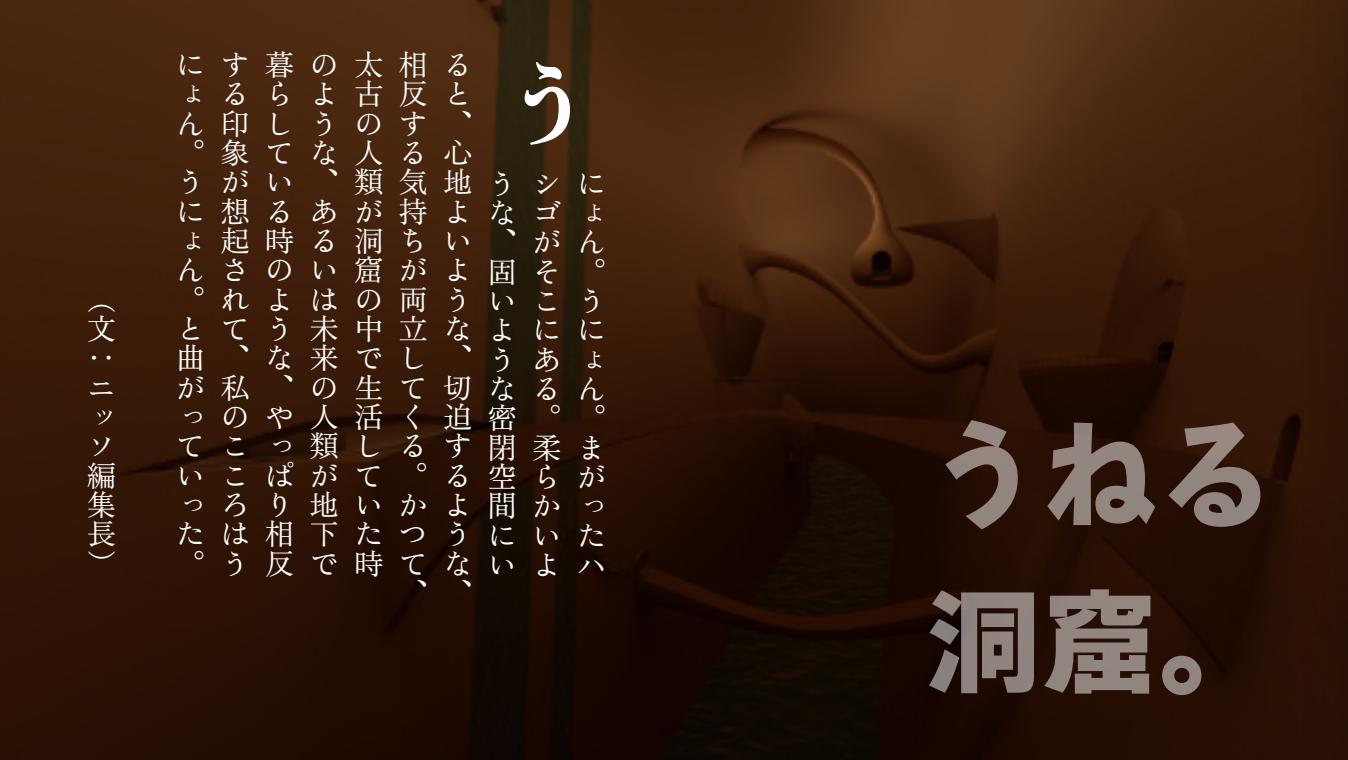
Super Tower Defence

Created by DragonCookie  [ACCESS](#)



Bar Only You
Created by mikinel

 [ACCESS](#)



Terra Cotta Valley

Created by Octuplex

[ACCESS](#)

写真／rocksuch

梯子。
うねる



(文・ニッソ編集長)

う
によん。うによん。まがったハ
シゴがそこにある。柔らかいよ
うな、固いような密閉空間にい
ると、心地よいような、切迫するような、
相反する気持ちが両立してくる。かつて、
太古の人類が洞窟の中で生活していた時
のような、あるいは未来の人類が地下で
暮らしている時のような、やっぱり相反
する印象が想起されて、私のこころはう
によん。うによん。と曲がっていった。



青天霹靂

昼版 [ACCESS](#)

夕版 [ACCESS](#)

Created by しーの/T_Shiino



9
0年代の世界へようこそ！えつ？この薄い板は何だって？えつ、見たことない…か。うん、それはフロッピーと言つてね…。今宵は20世紀目前の世界線。今はレトロと呼ばれてしまう物も当時は最新のアニメに漫画にガジェットだったもの。そんなえりすぐりの時代の歴史が詰まつた場所。20世紀の世界でただただ今日も主人の帰りを待つ懐かしの世界。たまには思い出してねと、今は昔となつてしまつた過去の世界が告げている。

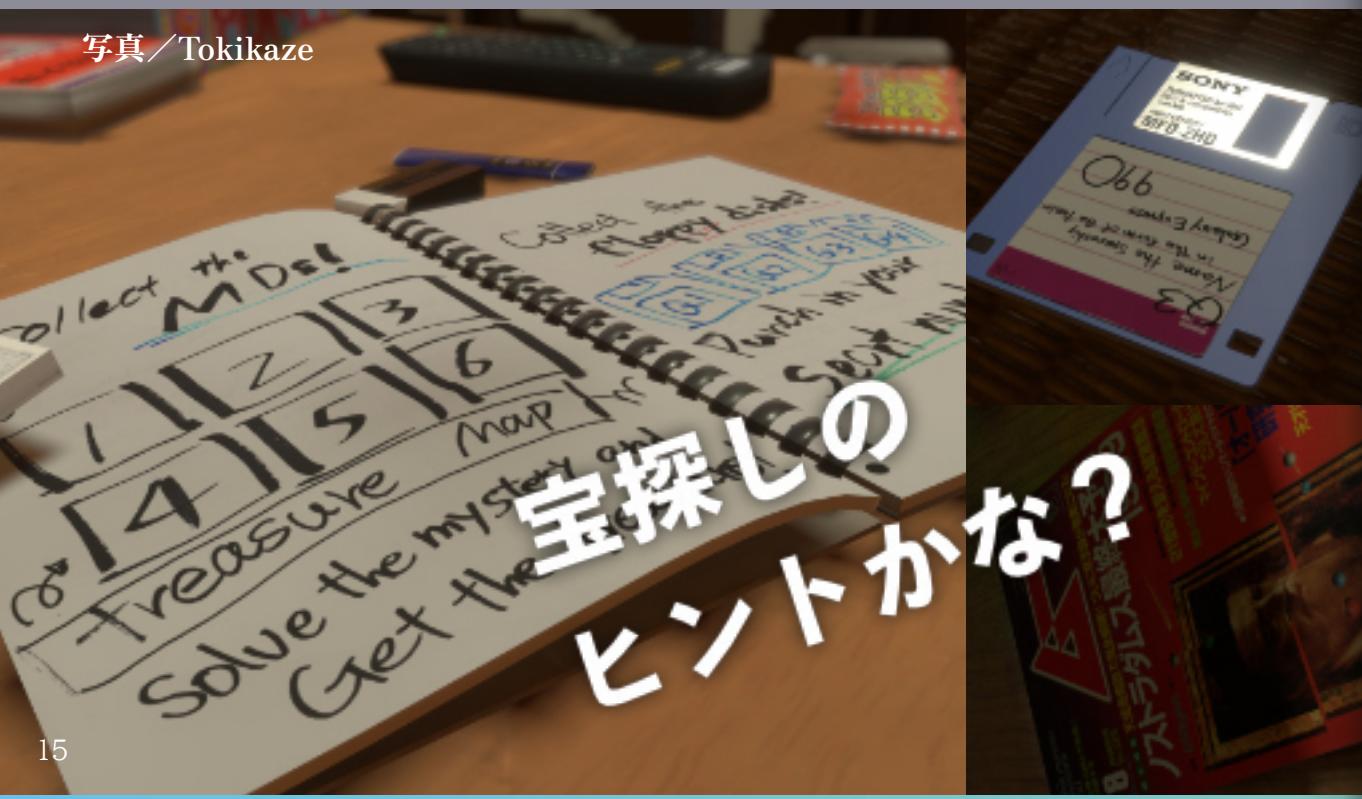
(文..ことはしろ)



Onnon_Nostalgia1999

Created by ONN' ON STUDIOS [ACCESS](#)

写真/Tokikaze



宝探しの
ヒントかな？

無
限に広がる海で、金色の何かを釣り上げた。ルーン文字のように優美な曲線を描くそれは、星型で装飾されている。素敵なもの思い出、ぜひ持ち帰ろう。私はバケツに金色をそっと入れる。すると、パッと光って金色が消えた。しかたがない、秘密の魔法は秘密にしておくべきなのだろう。祈るように優しい気持ちで、私はもう一度釣り糸を水面に垂らした。その時「あっ」と気が付いた。私が釣り上げた思い出が、星座となって宇宙に刻まれていたことに。

(文..sun)

写真/一兎



Star-Gatherers 星を釣る人

Created by chemical_15 [ACCESS](#)



に怖くなる。昔のように夏休みを味わいたいのに、40日も全てを放棄するのが怖いと感じるの、もうあの頃に戻れないという証左のだろうか。仕事の進捗や、家族の近況などが頭から離れない。とっくの昔に、子ども心を喪つてしまったのだろうか。子ども心を喪つてしまつたのだろうか。効率良く夏休みを享受したい……なんて、無駄なことばかり考へてしまう。

訪れたのは夏空の休息地。夏休みと聞いて想起するモノで満たされた世界。抜

けるような青空の下、透明な海がどこまでも広がる。どこに続くとも知れぬ鉄道、孤独に佇むような駅。紫陽花や向日葵など、夏に由来する花々が咲き誇る。鳥居やカーブミラーなど、親戚の家に行ったような風景が再現されている。海岸には海の家、遠洋には風車。ある意味、夏休みを『効率化』した理想の世界。

時には、寝落ちするような心地よさと共に下降するのを繰り返すことで、前方に進む。そうした夢を見るときは、決まって déjà vuを感じる。「前に空を飛ぶ夢を見た時と同じような景色だ」と。

鉄塔に登り、そこにある紙飛行機を握ると空を飛べた。あらゆる夏休みを見下ろしながら、私は浮遊感に身を委ねる。



ようこそ

夏夢島

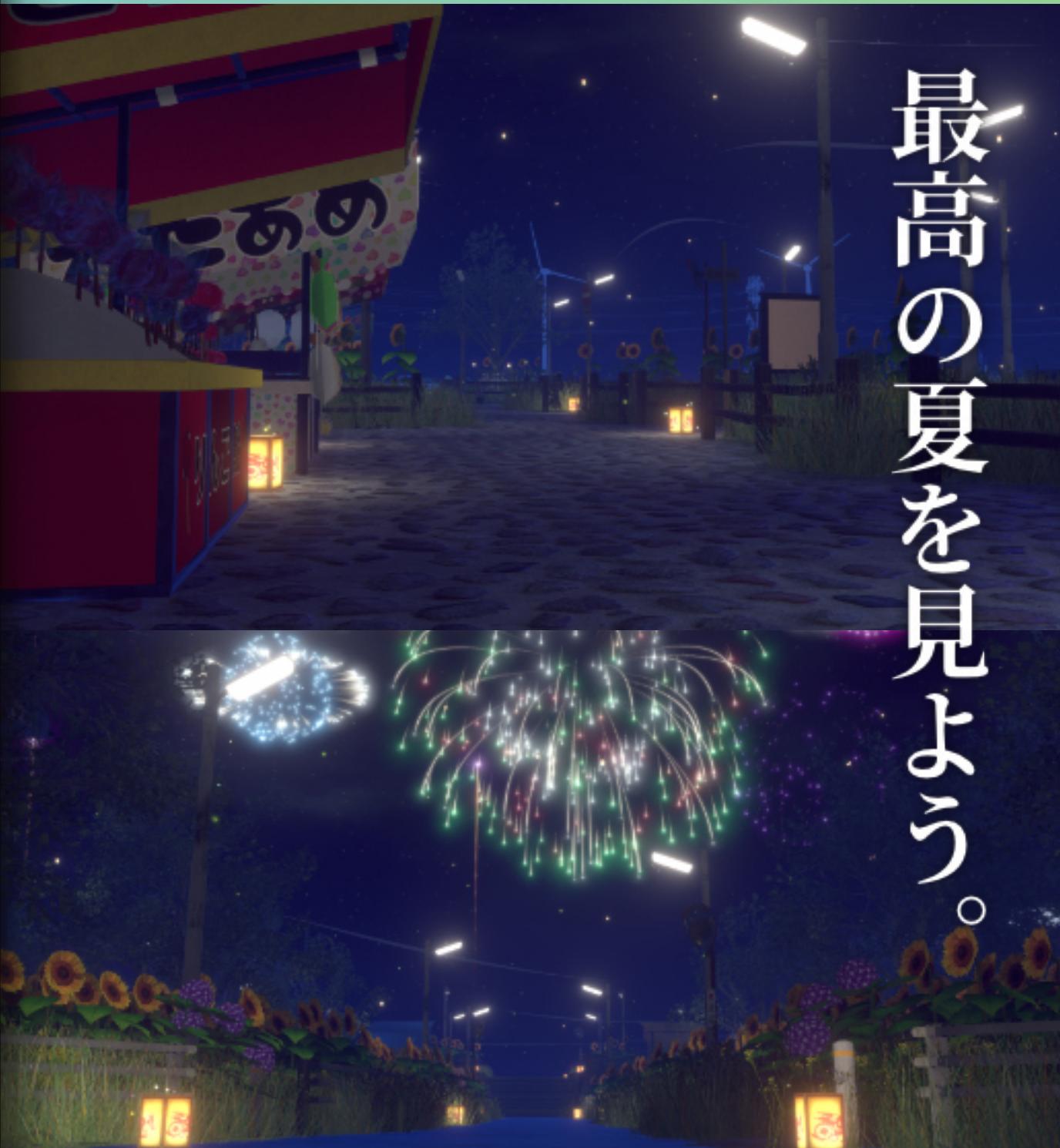
夏の楽園

夏空の休息地 -Summer Bluesky Rest-

Created by Leiria_vrc

ACCESS

最高の夏を見よう。



写真／一兎

夏宙の休息地 -Summer Starrysky Rest-
Created by Leiria_vrc ACCESS



時に怖くなる。永遠に変化のない風景は、もしかしたら虚構で、私が真に求めていたりボテで埋め尽くされたものはもう存在しないのではないかと。無限の青空、無限の海、それらはとても美しい。一方でこうも悲観的になる、変化のない日常は死んでいるのと同義ではないかと。

現実逃避するように夏空の休息地を飛んでいると、

いつしか夜の帳が下りて宇宙となる。盛大な花火が絶え間なく打ち上がり、咲き誇る。普遍的な『自然現象』であるかのように。灯台は船を迎えるように大きな光を放つ。街灯は優しく道を照らす。あの日、遊び疲れ帰路につき、半ば朦朧とした意識で見上げた道標と同じだった。

時に私は夢を見る。空飛ぶ夢を見るとき、決まって似たような場所にいるから、夢の世界があると信じている。朝日が昇り夕日が沈む、そんな当たり前のなかから感動を見つけ出せるくらい、余裕に満ちた自由な時間で揺蕩いたい。そのような願望が具現化されたのかもしれない。そうした夢から醒めるたび、私の中の豊かな感性、小さな感動に気づく力が蘇る。

『効率化』された夏休みを、私が願う奇麗なモノだけでも満ち溢れた『夢の世界』と言い換えよう。空と宙を繰り返す、眞の意味で永遠と呼べる休息地とも。

(文・sun)

安定の超軽量。



写真／rocksuch

キロバイトのうみ -Sea of KB
Created by 浜名湖なこ

ACCESS

1

キロバイト。日本語入力だと大体500文字分ぐらいの重さ。

それぐらいの小ささ。

500文字で伝えられることは多くないけれど、少なすぎるということもない。過剰に言葉を装飾すればどこか軽薄で嘘臭い感じがしてくるし、少なすぎれば伝わらない。何ギガバイトもある気持ちや感傷も、1キロバイトぐらいに圧縮できればちょうどいい。

この「キロバイトの海」は多すぎず、少なすぎないワールドだ。砂浜に焚火とちょっととしたテントのようなものがあり、それ以外は全て影だ。ちょっとだけ灯台もみえるが、そこにいくまでの道のりはわからない。焚火が照らす範囲だけがこの世界だ。

今、まさにVRの世界が広がっているのと同じように、インターネットの世界は広がり続けている。存在する人も多くなり、いろいろな気持ちが飛び交い、ぶつかり合っている。多くの言葉が交わさ

れ投げかけられ、もはやコミュニケーションとも呼べない文字列と文字列がぶつかっている、かもしれない。

そんな時代であるからこそ、この「キロバイトの海」に集まつて、焚火が照らせる範囲の人たちと共に言葉を交わすのがいいかもしれない。多すぎず、少なすぎない友人と共に、多すぎず、少なすぎない言葉を交わして。多すぎず、少なすぎない気持ちをともに持ちたい。空に浮かんでいる月を見て、それをポラロイドカメラで撮ってみて、「白すぎてなんだかわかんねえな」なんてどうでもいいことを話せればそれでいい。

この文章は大体10000文字。まだまだ修行が足りないから2キロバイトになってしまった。だから私の感傷を読者のあなたに半分だけ持つていてほしい。そうすれば私とあなたで1キロバイトずつ気持ちを分け合うことができるから……なんていうのは、ちょっと無理な誤魔化しそうだらうか。

この号は、metaquestだけで入ることができるワールドの特集号として作成したものだ。少しでもVRの素晴らしさ、面白さ、綺麗さを知ってもらいたくて、できるだけ早く、簡単にVRの世界に入れるように、そういう場所をおすすめできるようにと思ってこのテーマにした。まだVRを知らない人たちに届ければいい

と思ってこの文章を書いている。

もしこの号を読んで、VRの世界に入った人がいたら、是非紹介したワールドをめぐってみてほしい。きっと誌面でみるのとは違う気持ちが湧いてくるだろう。そしたらどこかで私と会ってほしい。きっとこの「キロバイトの海」に来て、あなたが感じた1キロバイトの感情を教えてほしい。

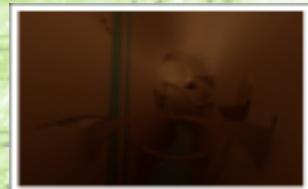


Astral Bounds Bar Only You Super Tower Defence



Terra Cotta Valley

キロバイトのうみ



撮影 : rocksuch
本文 : ニッソ編集長

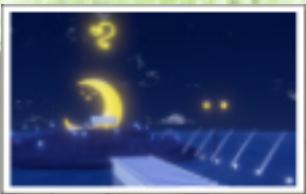
雨端



青天霹靂



Star-Gatherers
星を釣る人



夏空の休息地



夏宙の休息地



撮影 : 一兎
本文 : sun

Putt Putt Quest



Kitchen Cooks!



THE SMILE ROOM



Tombo Battlefield

Onnon_Nostalgia
1999

撮影 : Tokikaze
本文 : ことはしろ



rocksuch
カメラマン



ニッソちゃん
編集長



MetaQuest3と3sが発売されたことで、Questのみで入ることができるワールドへの需要が高まったかなと思い、特別号として出してみました。皆さまのはじめてのVR体験の参考になればいいなあ、と思います。

SUN
ライター



今回私は一兎さんが撮影した写真をもとに、文章を作成させていただきました。切り取られた写真をもとに物語性を持たせるというのは、他人の世界に冒険しに行くみたいで面白いものです！

一兎
カメラマン



今回は先に撮影を楽しんだ後sunさんに書いてもらいました:) 自分の表現したものにsunさんらしい解釈が入って新鮮な気分でした。

Tokikaze
カメラマン



一昔前はクロスプラットフォーム対応ワールドの数が少なく、探すのも一苦労でしたが、今やゲームワールドからチルワールドまでQuest単体でも遊べるワールドがたくさん増えたなど感じました。

燕谷古雅
編集/デザイン



PC&Quest対応のワールドを紹介する特別号だけに、Quest単騎経験者の私がひと肌脱いでやるぞ！と意気込んだが、予想以上に編集するのに大変苦労しました。

STAFF | 編集長 | Editor Chief
ニッソちゃん

誌面デザイン | Design
燕谷古雅

校正 | Proofreading
Nag

執筆 | Writer
ニッソちゃん
sun
ことはしろ

撮影 | Photographer
rocksuch
Tokikaze
一兎
わく(裏表紙)

Platform 24' 特別号【Questでも行けるワールド】

発行 : Platform編集部 (platformvirtualreal@gmail.com)

初版 (2024/12/20)

感想などは #Platform通信欄 へぜひお寄せください！

< To the next JOURNEY.

2024. 12. 20

Our
Journey
Continues...

Platform

24' 特別号